

# 関西化学研究所 津田サイエンスヒルズ まちづくり協議会ニュース

発行所  
津田サイエンスヒルズ  
まちづくり協議会  
〒573-0128  
枚方市津田山手2-9-5  
大阪大学内  
TEL (072) 858-5901  
FAX (072) 858-5904  
(題字:墨アーティスト 植笠幸三書)



各企業から集まったトイレトペーパーを被災地に

この度の東日本巨大地震は、東北地方の太平洋側に大津波の甚大な被害をもたらした。大阪府社会福祉協議会は、発生の初期段階で被災地に「トイレトペーパー」が不足しているとの情報

を受け、津田サイエンスの高園産業株式会社の担当者に支援の要請を行い、岡田顧問から当まちづくり協議会にもすぐに連絡があった。佐々木啓益会長は、津田サイエンスヒルズとして緊急性を受

## 巨大地震発生!! 初期段階で「トイレトペーパー」を被災地に支援

この度の東日本巨大地震は、東北地方の太平洋側に大津波の甚大な被害をもたらした。大阪府社会福祉協議会は、発生の初期段階で被災地に「トイレトペーパー」が不足しているとの情報を受け、津田サイエンスの高園産業株式会社の担当者に支援の要請を行い、岡田顧問から当まちづくり協議会にもすぐに連絡があった。佐々木啓益会長は、津田サイエンスヒルズとして緊急性を受

け取め、トイレトペーパーを支援することを即決。「手持ちの在庫分の中から協力できるトイレ

レットペーパーがあれば」と会員各企業に要請。わずか4時間ほどで高園産業の担当者を受け取り、物資の流通拠点の枚方市役所に届けた。その後、大阪府社会福祉協議会に配送、被災地に空

依頼を受けて半日でのトイレトペーパーの支援協力は、各企業が事の重大性を十分に認識し、日ごろから培ってきたネットワークを生かし協力することができた。当会の各企業に心から感謝申し上げます。

## ものづくり企業として被災地企業の復興支援の一助に!!

去る4月22日開催の津田サイエンスヒルズ23年度総会で、佐々木会長は席上「この度の東日本大震災で、多くの生産工場が多大な被害を受け、部品・材料の調達不足で日本の産業は大きな影響を受けている。当会も同じものづくり企業として、被災地の復旧にお役に立て頂くため救済基金をお願いする。」と呼びかけた。ご賛同を頂いた各企業から、北大阪商工会議所義援金口座を通じて日本赤十字社

に振込みされた。さらに4月28日の第4回ボーリング大会会場に救済募金箱を設置。プレイに参加している各企業の従業員の方々から心温まる募金を頂き、義援

金として5月6日、枚方市役所の竹内市長に事務局から直接手渡した。枚方市からの義援金は、岩手県陸前高田市大槌町・宮古市の2市1町の被災地支援のために活用されている。



23年度まち協総会開催



第4回ボーリング大会で集まった義援金を枚方市へ

# 第4回 ボーリング大会

42チーム 165名参加

4月28日 牧野松園ボウルにて

団体戦で優勝した  
枚方技研Aチーム



ボーリング大会成績表

団体戦	優勝	枚方技研Aチーム (平山、藤重、小野、山本)
	準優勝	伸和製作所Aチーム (能美一夫、能美一雄、能美将英、網内)
	3位	河内金属Aチーム (高橋、橋本、平佐、前田)
個人戦	優勝	坂井清和(プールミッシュ)
	準優勝	沖田彰吾(吉泉産業)
	3位	高橋佳子(河内金属)

## 津田サイエンスヒルズ掲示板

津田サイエンスヒルズ杯第4回親睦ボーリング大会を、4月28日京阪牧野駅前前の牧野松園ボウルで開催。各企業の皆様のご支援とご協力(企業賞で42チーム165名が参加し、大成功に終えた。

## 第4回 6月18日 枚方国際GC 親睦交流ゴルフ大会 7組28名参加

津田サイエンスヒルズ杯第4回親睦交流ゴルフ大会を6月15日枚方国際ゴルフクラブで開催した。この大会には、まちづくり協議会の経営者従業員など7組28名が参加した。当日は天気予報で雨マークであったが、幸いにも晴天のもと

ゴルフ大会成績表

優勝	青谷 忠昭 (吉泉産業)
準優勝	能美 一夫 (伸和製作所)
3位	植田 信一 (植田工業)
4位	橋本 文彦 (吉泉産業)
5位	坂本 喜晴 (坂本設計)

和やかな中に、楽しいプレイが行なわれた。



佐々木会長から青谷忠昭氏に優勝カップ贈呈

当日は、11時30分・14時30分の2回公演で出演者は、ナイツ・響・いとうあさこ・小島よしお・U字工事・キングオブコメディの奇跡ともいえる豪華メンバーの共演を是非体感して下さい。この貴重な公演のチケットを津田サイエンスヒルズのグループの従業員や家族の皆様特別価格でご用意させていただきます。

■電話での申込み方法  
TEL 06-6934-15760(オスカーチケットセンター平日10時~18時)へ「津田サイエンスグループ」と言えば、前売金額三千五百円からさらに二千五百円の特別優待金額で申し込みが出来ます。尚、当日開演30分前まで先着順でも受付可能です。チケットは当日会場窓口で開演30分前から受付名簿と照合、代金引き換えでお渡しします。



## 爆笑バトライブ 2011 in 枚方が、枚方市市民会館で9月4日(日)開催されます。

当日は、11時30分・14時30分の2回公演で出演者は、ナイツ・響・いとうあさこ・小島よしお・U字工事・キングオブコメディの奇跡ともいえる豪華メンバーの共演を是非体感して下さい。この貴重な公演のチケットを津田サイエンスヒルズのグループの従業員や家族の皆様特別価格でご用意させていただきます。

# 大阪産業ツアー一行 11ヶ国28名が津田ヒルズを視察

財団法人大阪産業振興機構と大阪府は、外国公館や外国政府経済貿易促進機関に対して、大阪産業への理解を深めて頂くために、大阪の元気を象徴し、世界をリードする優秀なものづくり企業を紹介する大阪産業ツアーを毎年開催している。今回のこのツアーにはタイ・マレーシア・アメリカ・オランダ・ポーランド・イギリス・フィリピン・インドネシア・中国・韓国・タイの領事館関係者とスタッフなど11ヶ国28名が参加した。1月28日、大阪産業ツアー一行は津田サイエンスヒルズにある植田工業株式会社と吉泉産業株式会社企業視察を行った。



自転車に試乗する外国人参加者



吉泉産業で視察前の説明会を開催

口で、均一の体積に切り分ける、切断面の計測を行うCCDカメラを搭載した「切り身スライサー」を視察。通訳付きの英語で熱心な質問が飛び出し、答える担当者側はいつもと勝手が違い、戸惑っていた。

## けいはんな学研都市 サード・ステージ推進会議

### 第6回総会開催 津田ヒルズまち協も参加



けいはんな学研都市サード・ステージ推進会議・第6回総会が、7月4日けいはんなプラザで開催された。この会議に、座長の柏原康夫推進機構理事長を初め、学識委員、各大学・諸団体の委員36名の中に津田ヒルズまち協も参加した。

## 猛暑の中、清掃に汗を流す 清水園の作業メンバー

毎月1回実施

社会福祉法人くみみ清水園は、まち協の委託を受け津田ヒルズ内の公園や外周道路の清掃活動を行っています。平成20年から毎月第1火曜日を清掃日と決め毎月実施しており、この8月で41回目となります。

いつも「サイエンス」を合言葉に出発しており、猛暑の中、清掃されている姿を見かけたら気軽に声をかけて下さい。



取集量は多い時で、ゴミ袋10〜12袋になる。家庭一般のみならず、ファーストフードの残飯・空き缶などもあり、最初のころは粗大ごみも多かったようです。

清掃。

収集量は多い時で、ゴミ袋10〜12袋になる。家庭一般のみならず、ファーストフードの残飯・空き缶などもあり、最初のころは粗大ごみも多かったようです。

「まちづくり協議会」のネットワークづくりの取り組みやNPO市民講座開催事例などの報告が行われた。

# 植田工業株式会社



代表取締役 植田 守氏

より良い品を  
より早く  
2009年に創業50周年を迎えた植田工業株式会社が津田ヒルズ

に本社工場を移転し、この5月で4年が経過した。代表取締役社長の植田守氏は「津田ヒルズは環境も良く第二京阪道路が開通し、交通が格段に便利になりました」と移転のメリットを話す。

自転車部品の製造を中心事業とする同社の主要取引先は「自転車業界のインテル」と呼ばれ、完成品ではなく部品として世界の80%のシェアとブランド力を有する業界のリーダー的存在。植田工業はそのトップカンパニーの信頼を勝ち取り、大きく事業を伸長させてきた。

駆動などの自転車の操作性、安全性などの重要な機能を左右する部品に特化したこと。独自の技術・システムを構築し、高機能が要求される市場を技術開発のターゲットと位置づけ、金型技術・生産技術・評価技術などを駆使し、提案から納品まで自転車機能部品を一貫生産までを行う。今後は産

学連携で新たな技術開発も視野に入れている。植田社長の基本方針は「より良い品をより早く」。将来を見据えた展開も研究開発が必要不可欠。さらに技術の高度化に取り組み、顧客が求めている安定した品質の高さ・約束された機能・シンプルで美しさを持つ日本ブランドの構築を目指す。

## ホームページ

津田サイエンス  
まちづくり協議会  
ホームページアドレス  
<http://tsuda-science.jp>  
メールアドレス  
[matikyout@tsuda-science.jp](mailto:matikyout@tsuda-science.jp)



# 津田ヒルズ立地企業を訪ねる

当エリアに入居している企業の業務内容や社会的意義を順次紹介

## 坂本精器株式会社



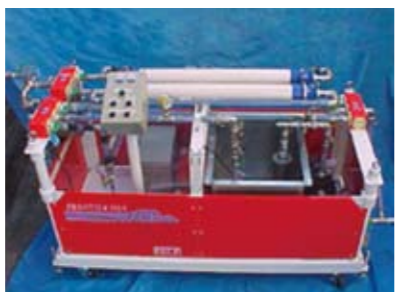
代表取締役 山中 昭氏

種のパイプ。坂本精器株式会社は細管加工の分野に挑戦した業界のパイオニアとして知られている。

創業は昭和31年3月。初代社長の坂本俊一氏が、ガス・石油点火機構ならびに部品の研究と製造のため大阪市旭

区に工場を構えた。その後、自社開発の自動装置による売り上げ伸張などを経て、平成19年5月に本社を津田ヒルズに移転した。代表取締役の山中昭氏は「部品の納入など流通面では改善されました」と話す。

現在では曲げ方や端末形状の違いなどにより、多様なパイプ加工技術を持つ。また、パイプ加工の技術を高めることと平行して新規事業へも積極的に取り組む。最近では災害の多い日本において同社の独自の技術が活かされた緊急用浄化装置の「フロンティアワン」が注目を浴びている。この装置は緊急時における生活用水を確保のため河川・池・プール等の水をそのまま原水として活用できる浄化装置。浄化能力としては、毎時1800リットルの大容量を実現し、RO膜エレメント(オプシオン)により、海水の浄化も可能で災害時に役立つ。同社の社会貢献への意欲が開発商品にも現れている。



植田工業(株) 本社工場内

技術と独創力で  
社会貢献  
社会に欠かせない流体移送に使用される各

創業は昭和31年3月。初代社長の坂本俊一氏が、ガス・石油点火機構ならびに部品の研究と製造のため大阪市旭

現在では曲げ方や端末形状の違いなどにより、多様なパイプ加工技

術を持つ。また、パイプ加工の技術を高めることと平行して新規事業へも積極的に取り組む。

そのまま原水として活用できる浄化装置。浄化能力としては、毎時1800リットルの大容量を実現し、RO膜エレメント(オプシオン)により、海水の浄化も可能で災害時に役立つ。同社の社会貢献への意欲が開発商品にも現れている。